**＝＝＝**

属性（選択肢または数値入力）

性別：男性

年齢層：40代

本人の感染の有無：なし

親しい人の感染の有無：なし

同居者：妻、息子（中学生）

居住都道府県： 東京都

住居の形態（戸建て、集合住宅（庭またはバルコニー・ベランダあり））： 集合住宅

職業：会社員

収入の変化（自分、世帯）：変わらない； 変わらない

支出の変化：増えた

2020年1月の週あたり出勤日数、労働時間（職場と在宅それぞれ）：

5日 職場50＋時間；自宅0時間

2020年5月の週あたり出勤日数、労働時間（職場と在宅それぞれ）：

2日 職場25時間；自宅21時間

生活満足度の変化（大きく下がったから大きくあがった）まで：大きく下がった

自由記述：

家で集中して仕事するのは無理。外出自粛はストレスが溜まる。出勤日は昼、夜と外食しているが、営業時間が短縮されていたり、店内で自由に話せなかったりして、不自由。感染者が出るのは避けられないのだから、できるだけ普段通りに過ごさせてほしい。

＝＝＝

【自分自身について】

1. 1月の働き方
2. 緊急事態宣言中の働き方

インタビュアー

働き方についてお尋ねします。まずは今年１月はどのような働き方をしていたのかお話いただけますか？

Cさん

普通に働いていました。平日は出勤して、土日は休んで。仕事はほとんど社内ですが、昼休みは外に出たり、仕事終わりには同僚と飲みに行ったり。家で仕事することはまずなくて、仕事が終わらないならいっそ遅くまで残業するようにしていました。うちの会社では割と社員同士の交流があって、土日もテニスとかバーベキューとか、集まることもあったりしましたね。

インタビュアー

４月７日からの緊急事態宣言が解除されるまでの間はどのような働き方でしたか？

Cさん

出社が週二日になりました。あとは自宅でということですが、全然集中できませんね。マンションでネット接続が提供されていますが、アクセスが集中しているのかものすごく遅くなりましたし、そもそも自宅で仕事するようになっていなかったので。一応個室で仕事できましたけど、色々と気が散ります。オンライン会議は実際に会って会議するほどスムーズじゃないですし。なので、できるだけ出社日に仕事を集中させるようにしていました。自宅で働く日は、一応最低限のことだけやる、みたいな感じでしたね。

【同居者について】（いる場合）

3.同居者（複数いる場合はそれぞれ）の働き方、通学などの変化はどのようなものでしたか。

インタビュアー

同居している方はいらっしゃいますか？いらっしゃる場合、同居者の働き方、通学などの変化はどのようなものでしたか？

Cさん

妻と中学生の息子がいます。妻は専業主婦、というか週の半分くらいパートで働いています。

息子は割と早くから自宅学習になりました。学校や塾から課題が出たり、うちにあるタブレットとか使って何かやっているようです。勉強の遅れも心配ですが、まあ、他の子も同じ条件なので。

妻のパート先は早々に休業して、一応営業再開はしていますが、まだ人手はいらないようで、ずっと家にいて専業主婦の状態です。このまま戻れないかもしれませんね。パート先も景気良いはずはないと思うので。

生活の変化について

4.自分と同居者の生活の変化はどのようなものでしたか。睡眠、家事、趣味、運動、自由時間、家族関係など思いつく側面についてお答えください。

インタビュアー

ご自分とご家族の生活の変化はどのようなものでしたか？

Cさん

とにかく出かけなくなりました。家族で出かけることも、それぞれ別々に出かけることもあって、土日はほとんど外出しているような生活だったのが、ずっと家にいるようになってました。緊急事態宣言が解除されてから早速外出していますが、とは言っても前のようにというわけにはいかないので、以前と比べると外出は半分くらいでしょうか。うちの家族はみんなアウトドア派で家の中でできるような趣味があまりないので、家にいる間はそれぞれ勝手に動画を見たりゲームをしたり、もしくはZOOM飲み会だったりという感じです。

つらかったこと

5.緊急事態宣言およびそれに先立つ、外出自粛や休校措置などの感染防止対策の開始後の生活でつらかったことをお答えください。

インタビュアー

緊急事態宣言や外出自粛や休校措置などの感染防止対策の開始後の生活でつらかったことをお答えください。

Cさん

出かけられない、人に会えないのがとにかくつらかった。通勤が減ってうれしいと思ったのは最初の一週間くらいで、あとはもう、出社日が楽しみになっていました。出社すれば人に会えるし、ちょっと外でご飯食べたりもできるし。

あと、家で仕事するために実は色々購入してて、仕事関係だけじゃなくて、暇つぶしというか、オンデマンドのビデオを購入したりゲームの課金だったり支出がかさみました。妻の収入もゼロだし、経済的にちょっとつらかったですね。

よかったこと

6.緊急事態宣言およびそれに先立つ、外出自粛や休校措置などの感染防止対策の開始後の生活でよかったことをお答えください。

インタビュアー

緊急事態宣言や外出自粛や休校措置などの感染防止対策の開始後の生活で良かったことをお答えください。

Cさん

良かったこと・・特に思い浮かばないですね。強いて言えば給付金が出たので、いろいろかかったお金分くらい取り戻せたことでしょうか。

7.全体として、緊急事態宣言やそれ以前の感染拡大防止のための社会の変化は自分にどのような影響を及ぼしましたか。

インタビュアー

全体として、緊急事態宣言やそれ以前の感染拡大防止のための社会の変化は自分にどのような影響を及ぼしましたか。

Cさん

ものすごくストレスを与えられています。早く元の生活に戻りたい。緊急時事態宣言が解除されても、まだ元通りではないですよね。 新しい生活様式とか言われていますが、要するに自粛期間の生活が正しいってことですよね。人と近づくなとか触るなとかしゃべるなとか、それをニューノーマルとして変化を受け入れろって、ちょっとおかしいような気がします。今の状態は新型コロナの影響を受けた、あくまでも一時的な状態、ということで以前の生活に戻りたいです。